



けやき



No.7

甲府市立南中学校
令和 3年 10月 5日
文責 渡 邊 豪

第52回 みんなみ祭 第1部開催

9月22日（水）第52回みんなみ祭第1部（体育部門、吹奏楽部発表）を開催しました。開祭式は新型コロナ感染対策のため、あらかじめ録画しておいた動画を編集したオープニングムービーを、3年生は体育館で、1、2年生は各教室で視聴しました。工夫を凝らして作成されたオープニングムービーは、行事が始まる前のわくわくドキドキした感じが表現されたものでした。それに続いて動画による吹奏楽部の発表がありました。3年生にとっては、これが全校生徒を前にした最後の演奏です。新型コロナの活動制限で、練習ができない期間もありましたが、3年間の活動を締めくくる心のこもった演奏でした。



【みんなみ祭開祭式校長あいさつ】 ※一部抜粋

皆さんおはようございます。今日ここに、第52回みんなみ祭の開祭式を無事迎えることができ、とても安堵しています。というのは、この夏の第5波と言われる新型コロナウイルスの感染拡大が、これまでになく多数の感染者を出し、知事による「臨時特別協力要請」や政府による「蔓延防止等重点措置」が出され、甲府市も措置区域になりました。2学期はじめからは分散登校を行い、その期間中の修学旅行をはじめ学校行事の中止や延期が求められ、部活動も練習がすべて中止になったので、記憶に残っていると思います。現在も行事については、三つの密を避けた少人数で短時間の取り組みでできるもの、大きな声を出さないもの、など様々な制限があります。部活動は、13日（月）から活動できるようになりましたが、朝練習の禁止、活動時間の制限があります。このような様々な制限がある中で、みんなみ祭を開催することができ、私自身安堵しているわけです。



去年の夏はコロナ感染の第2波と言われ、この夏の第5波と比べると感染者数はとても少なく、山梨県では8月6日と19日に10人の感染者が出て、それが去年の夏の1日あたりの感染者数の最多でした。去年のみんなみ祭（取り組み期間中も含めて）の頃の感染の様子は、県全体の感染者が0人の日が多く、感染者が出て1人から2人くらいでした。それでも感染防止を考慮した種目や取り組み内容でみんなみ祭を実施したはずで

今年の夏はデルタ株による感染が拡大し、8月20日には過去最多の103人の感染者が報告されました。今現在も毎日10人から20人前後の感染者が出ています。これは山梨県の人口から考えると、かなり多い数です。そのため第52回みんなみ祭は、昨年度よりさらに感染防止を考慮した中での実施となりました。

コロナの感染拡大のため、学校生活はもちろん、普段の皆さんの生活も変わったと思います。授業でさえ話し合いや実験、合唱など、できないことがまだまだあります。でもその中で、生徒会役員を中心に対策を行いながら、全員がまさに今、みんなみ祭を実施しようとしている、ここに価値があると考えています。

さて、コロナ対策をしながら学校生活を送るようになって、1年半以上が過ぎました。その中であなたがどのような気持ちで毎日の生活を送るのか、制限がある中でどのように喜びややりがいを見だし、目標に向かっていくのか、それは、あなたの心持ち次第です。今まで当たり前だと思っていた、学校での授業やみんなみ祭などの行事、部活動などは、実は当たり前ではなく、感染症だけでは



なく自然災害などが起これば、すべて実施できなくなってしまうということ。そして、毎日、何気なく過ごしていた学校での友達との時間が、あなたにとってとても貴重な時間である、ということに気付いたとすれば、それはあなたのこれからの人生において、とても価値のある宝物になると思います。

第52回みんなみ祭のスローガン「Break your Limit」のとおり、自分自身の限界を打ち破る、という気持ちで、今日と11月の文化部門ともに、3年生を中心に全員が楽しみ、輝けるものになることを期待しています。

みんなみ祭体育部門

第52回みんなみ祭体育部門当日の朝は曇りで、熱中症の心配をすることなく体育部門をスタートさせることができました。競技開始後、一時的に小雨が降りましたが、子供たちは気にするそぶりもなく競技に集中していました。程なく雨がやみ、湿り気を帯びたグラウンドは、むしろ体育部門を行うのに最適なコンディションとなりました。

コロナ感染拡大のため、2学期始業式が8月27日になり、8月30日から9月10日までは分散登校でした。9月13日からは、朝の活動はすべて中止で放課後も時間制限のある中での最小限の活動のみ実施可能だったので、みんなみ祭第1部で必要な部門のみ活動し、実質的には4日ほどの活動でした。



それ故に各学級で取り組む競技はもちろん、各部門の運営はスムーズにできるのだろうかと心配していました。体育部門員のリハーサルさえ前日に短時間行えたのみで、一般の生徒についてはリハーサル等は全く行えませんでした。待機場所であるテントから整列場所に移動するのも、当日が初めてでした。全校生徒の動きを見ていましたが、リハーサルがなく細かい指示が出なくても、

全校生徒が整然と移動し整列する。そして、静かに開会式が始まるのを待っていました。一人一人が体育部門を行う、という意識をもって行動することができ、また、集団としても整っていることを感じさせる開会式でした。



午前9:45体育部門開会式が行われ、体育部門が始まりました。競技は、感染防止を考慮した種目である①南中 JUMP (各学年) ②クラス対抗リレー (各学年) の2種目でしたが、これまでの練習の成果を本番で発揮しようと、クラス全員が集中している様子とこれまで蓄えていたエネルギーを一気に発散させるようなエネルギーギッシュな様子が見られ、見ている側も思わず力が入る場面がたくさんありました。感染対策を確実にしながらも、本来の中学生としての生き生きとした表情や姿を見ることができ、私自身喜びとともに安心感を得ることができました。



やがて各学年の種目が終わり、閉会式を迎えました。閉会式もしっかりとした態度で臨み、今年の体育部門が幕を閉じました。一人一人が限られた時間を精一杯楽しもうとしている様子が伝わってきて、とてもすがすがしい気持ちになった体育部門でした。

